

令和6年度 地域の身近なスポーツの場づくりに関するオンラインセミナー
～誰もが気軽に楽しめる身近なスポーツの場づくりに向けて～

2024.10.31

第1回 誰もが安心・安全に利用できるスポーツ施設

スポーツ施設の安全管理（事故防止）

MS&AD インターリスク総研株式会社

MS&AD INSURANCE GROUP

日本スポーツ施設協会 公共施設調査研究委員会委員

関西大学 非常勤講師

MS&AD インターリスク総研

営業部 アカウントマネジメントグループ長

本間 基昭

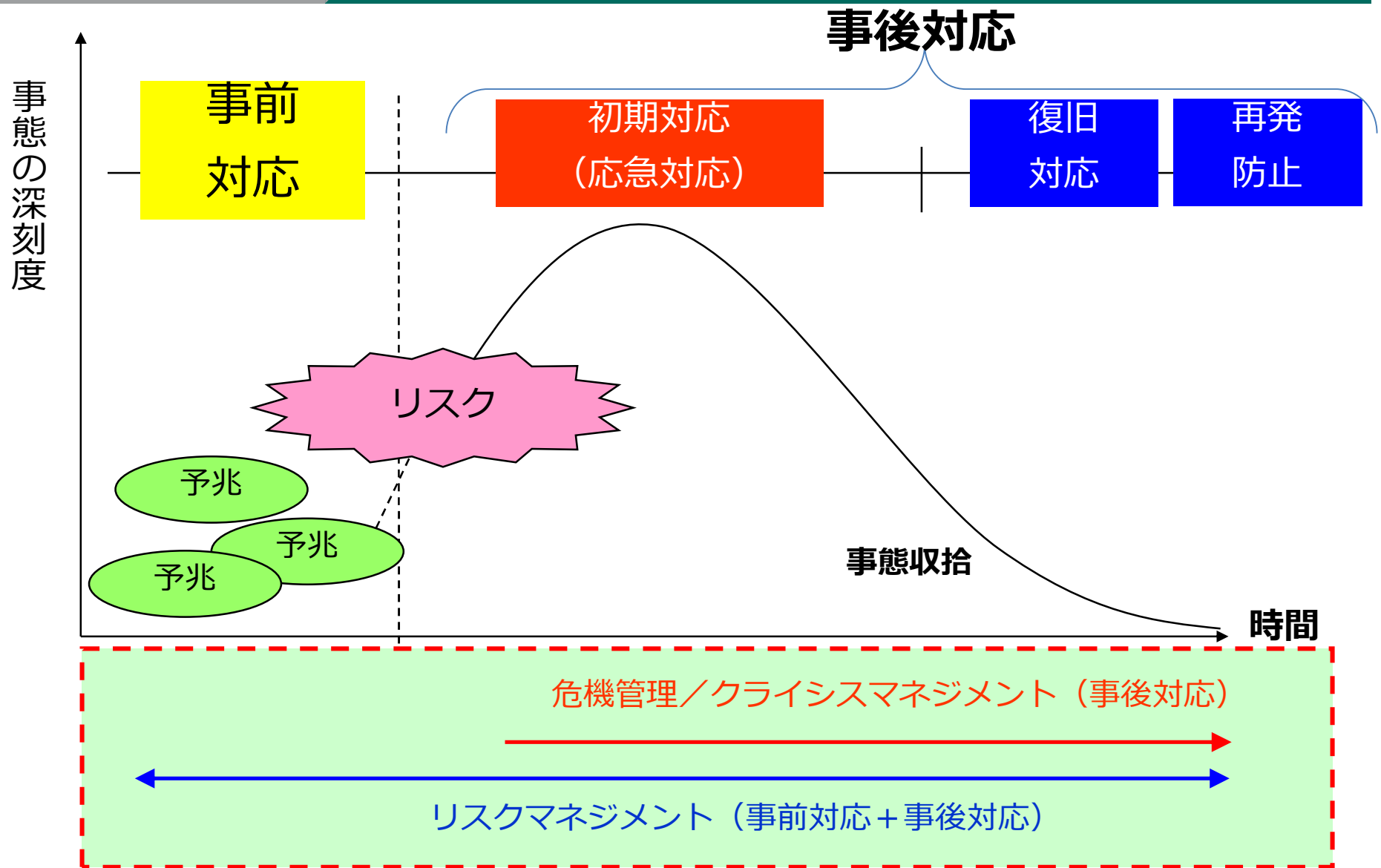
本日の内容

- 1 リスクマネジメントの基本
- 2 損害賠償責任
- 3 安全確認が必要な施設管理上のポイント
- 4 事故発生時の基本対応



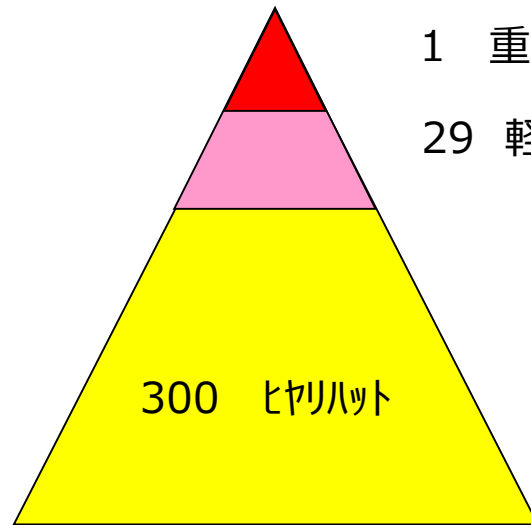
1 リスクマネジメントの基本

リスクマネジメントと危機管理



安全確認が必要な施設管理上のポイント

1 : 29 : 300の法則（ハインリッヒの法則）



1 重大な事故

29 軽微な事故

- ・ 如何にして予兆に気付くのか？
- ・ 常に「なぜ？」という気持ちを持つ

- 1件の大事故が発生する前には、29件の軽微な事故、300件の事故につながりかねないヒヤリハット事象が発生している。
- 米国のハインリッヒ氏が事故の発生確率を計算してまとめた経験則。大事故が発生する背景に、膨大な危険信号が現れているということを説明したもの。
- 航空業界では、軽微な事故も含めて網羅的に事例を収集（報告）・分析することで、事故の抑制に繋げている。

重要リスクの抽出

リスクの種類によって軽重をつけた対応を行うこと

	影響度 小	影響度 中	影響度 大
施設利用者の事故	軽微な ケガ	入院 通院	死亡 後遺障害
経済面の 影響	軽微な 費用	半年分の運 営費に相当	純資産に 相当
発生時 に対処		発生しないように 対処	

【影響度とは】

- ・ 生命・健康など人的被害（死亡・負傷、健康被害、など）
- ・ 物的被害（施設・設備被害、など）
- ・ 経済的被害（経済活動への悪影響、など）
- ・ 社会的影響（住民の混乱、信用失墜、など）

リスクへの対応

リスクコントロール (対応策)

- ① 回避
※やらない
- ② 予防
※起こりにくくする
- ③ 損害の低減
※リスク発生時の影響を小さくする
- ④ リスクの分離
※2つに分ける、バックアップ

リスクファイナンス (資金手当て)

- ① 自己資金（自らの資産）
で対応＝保有
- ② 損害保険で対応する

ハード面（施設・設備）

×

ソフト面（管理・運営）

2 損害賠償責任

事故発生時の法的責任

安全配慮義務

- ・ 予測できる危険を排除する
- ・ 注意義務を守らせる

法人（指定管理者）

責任（損害賠償）の範囲＝管理下

職員

故意・過失

注意義務

- ① 予見義務
- ② 回避義務

責任の種類

- ① 民事責任
- ② 刑事責任

職員

事故発生時の法的責任

＜応急手当における法的責任＞

■ 応急手当（＝人工呼吸、AEDによる除細動、止血等）

たとえ結果が悪かったとしても、そこに悪意や重大な過失がなければ、
手当での施行者が刑事責任を問われたり、損害賠償責任を問われたりする
ことはない。（刑法第37条の緊急避難または民法第698条の緊急事務管理に相当）

■ 管理者・運営者側には施設利用者や参加者の生命身体を守る義務がある。

生命の危険がある場合には可能な限りの応急手当を行うよう努めなければ
ならない。（民法第697条の管理者の管理義務および民法第700条の管理者の管理継続義
務の条項）

自らが行うことが可能な応急手当を管理者・運営者側が怠っ
た場合には法的責任を問われることがある。



3 安全確認が必要な施設管理上のポイント

安全確認が必要な施設管理上のポイント ①～⑦

＜施設利用者に対する安全点検 ①－④＞

①転落（足を踏み外す、引っ掛ける、バランス崩す等）

- ☐屋上 ☐天窓 ☐立入禁止場所の把握、施錠
- ☐窓 ☐吹き抜け ☐バルコニー
- ☐手すり ☐防護柵 ☐マンホールの蓋

②衝突

- ☐石、金属の露出 ☐面取りしていない柱
- ☐大きなガラス（視認性の確保等）

③転倒

- ☐水濡れ（雨漏り等） ☐床材の剥がれ

④挟まれ事故

- ☐扉、窓、戸袋等の隙間 ☐防火扉、シャッター
- ☐門、側溝の蓋 ☐その他、開口部

安全確認が必要な施設管理上のポイント ①～⑦

＜施設利用者に対する安全点検 ⑤－⑦＞

⑤落下物(固定の確認等)

- ☐ 屋根、外壁 ☐ 天井への設置物(電気、テレビ等)
- ☐ 書棚等への設置物

⑥敷地内の倒木、落枝

- ☐ 倒木の可能性
- ☐ 枝の落下の可能性

⑦高齢者や子どもへの留意

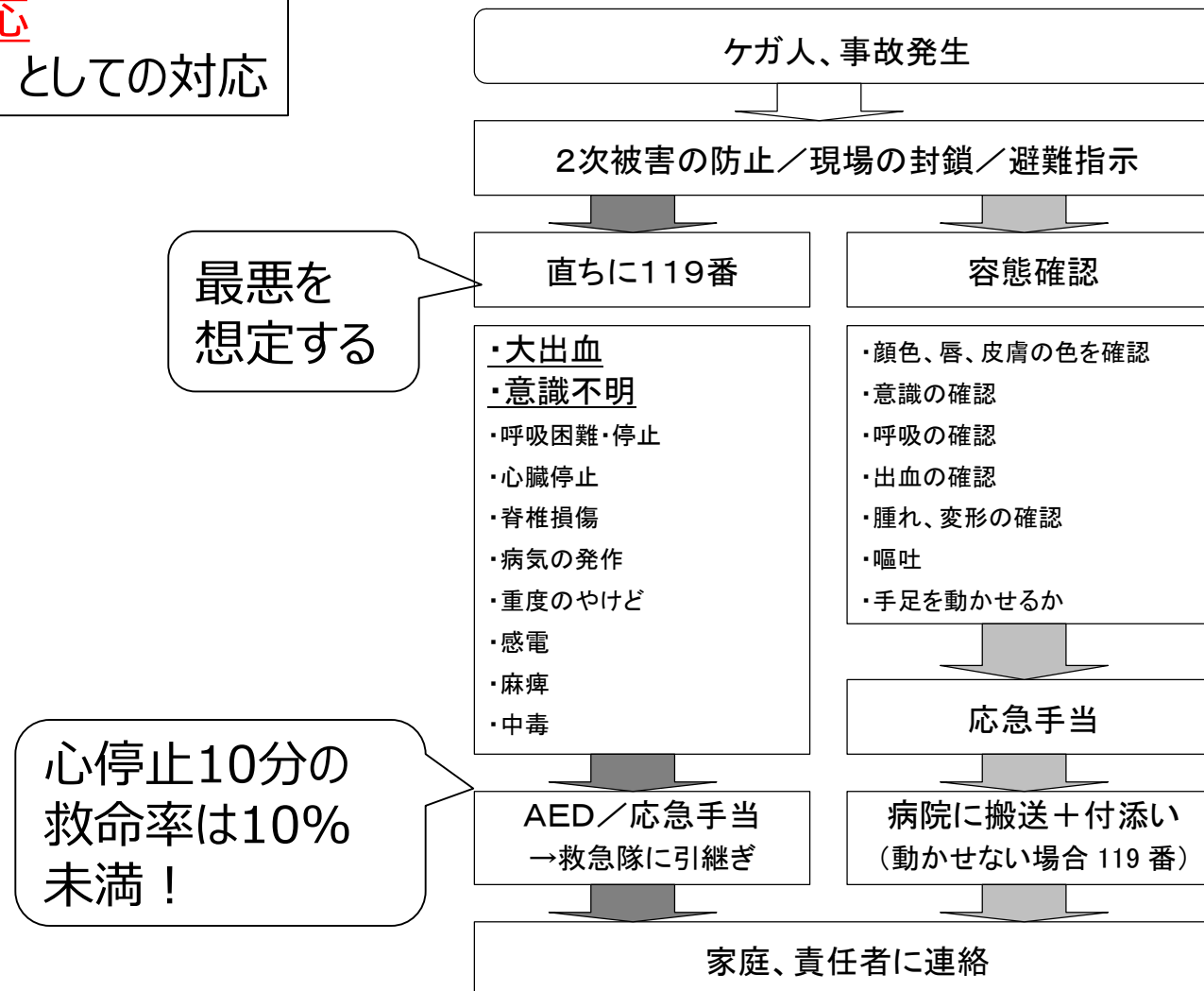
- ☐ 出入り口の配慮(段差、スロープ、自動ドア等の配慮)
- ☐ 通路(スペースの確保等)

4 事故発生時の基本対応

事故発生時の基本対応

1 ケガ人への対応

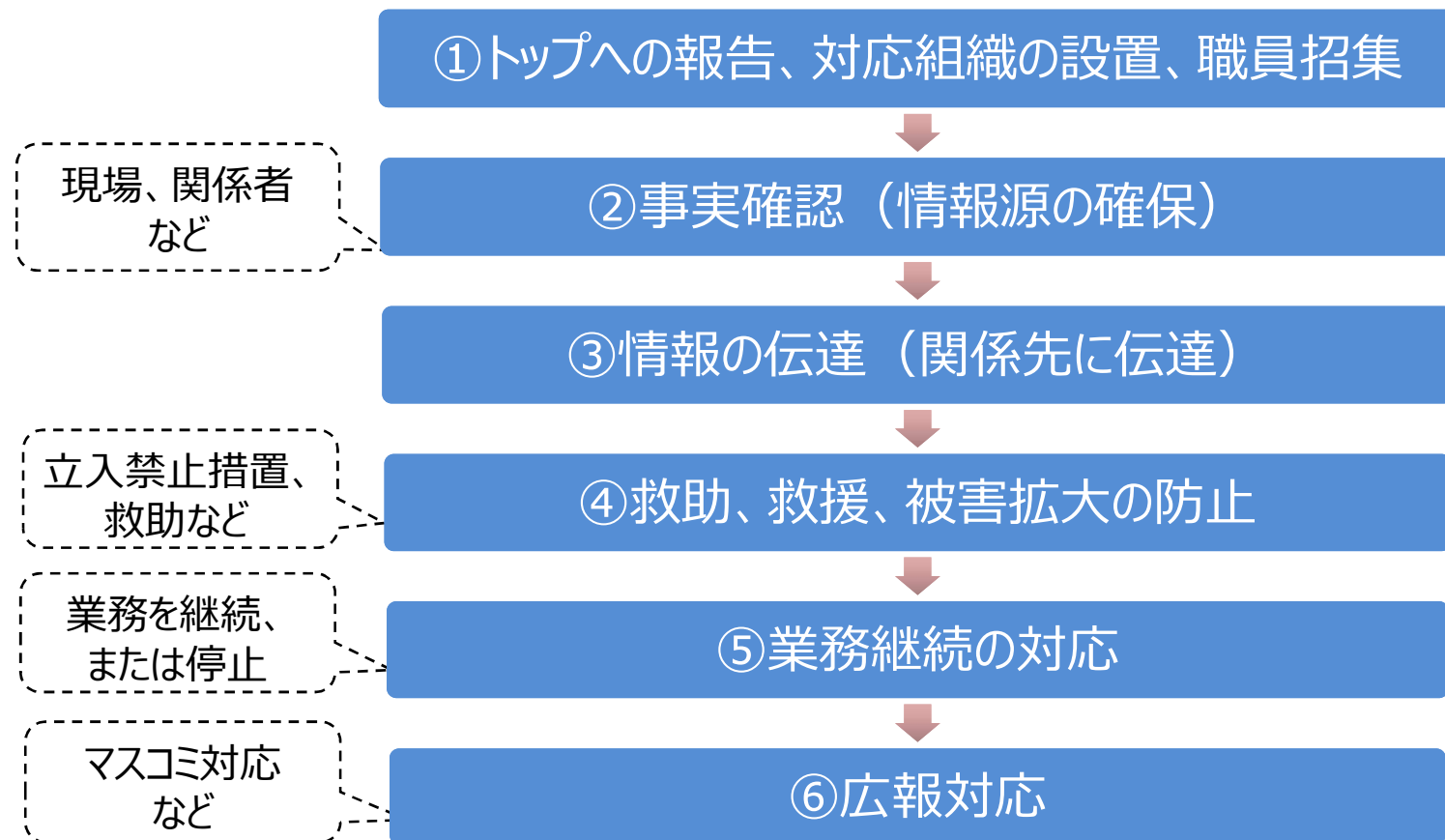
2 施設（組織）としての対応



事故発生時の基本対応

1 ケガ人への対応

2 施設（組織）としての対応



まとめ

まとめ

①安全確認が必要な施設管理上のポイントを確認する

※利用者、競技の特性・動線を考える

②不具合を発見したら、すぐに対処する

※使用しない⇒修繕

③常に「なぜ？」という気持ちを持つ

※違和感を感じれば、すぐに対処する

参考文献

本間基照他著「大震災後に考えるリスク管理とディスクロージャー」、同文館出版、2013

本間基照著「学校・大学リスクマネジメントの実践-地震対策・事故防止・情報管理-」、同文館出版、2016

平成28年度「劇場・音楽堂等トラブル対応ハンドブック2017」、公立文化施設協会、本間・編集委員、2017

https://www.zenkoubun.jp/publication/pdf/afca/h28/h28_trouble.pdf

平成29年度「地震だ!! どうする!? 劇場・音楽堂等 震災対応ハンドブック」、公立文化施設協会、本間・編集委員、2018

https://www.zenkoubun.jp/publication/pdf/afca/h29/h29_shinsai.pdf

令和2年度「劇場・音楽堂等感染症基本対応チェックブック」、公立文化施設協会、本間・監修、2020

https://www.zenkoubun.jp/publication/pdf/afca/r02/r02_checkbook.pdf

本間基照著、「スポーツリスクマネジメントの実践-スポーツ事故の防止と法的責任-」、日本スポーツ協会、2022

<https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid514.html>



MS&ADインターリスク総研（株）のRM NAVIの紹介



お問い合わせはRMNAVIの「問い合わせ」よりご連絡ください。

RM NAVI（リスクマネジメント ナビ）は、リスク情報の提供から対策支援までをワンストップでサポートするポータルサイトです。会員登録いただくことで、リスクレポートのタイムリーな入手や、弊社の提供する各種メニューの検索・導入がスムーズになります。

ご清聴、ありがとうございました。

